

算数科 第6学年

縮図と拡大図の考えを生活に生かそう

学習指導者 やのとしゆき 矢野 利幸

「縮図と拡大図についてきちんと理解し、日常で使えるようになる」という単元のゴールを目指し、これまでに縮図や拡大図の性質やそれを生かした作図の仕方を学んできた子供たちは、本時は、縮図を使って身の回りのものの高さを求めていきました。

まず、校庭のメタセコイアの高さについて、教師の測定結果との誤差1m以内の測定結果を目指し、班で協力して縮図をかき、測定していきました。「より正確に高さを求めたい」という子供の思いに応えられるよう、複数枚のワークシートを用意することで、納得のいく測定結果を目指し、何回も縮図をかいて確かめる姿が見られました。メタセコイアの高さを測定することを通して、縮図のかき方への理解を深めた子供たちは、それを生かし、さらに、自分の測りたいものの高さを測定していきました。



1°の違いで、こんなに高さが変わるのだね。

角度をもう一度測り直してみよう

考察

- 複数枚のワークシートを用意することで、測定結果のずれから、より正確な値を求めて忍耐強く何度も測り直そうとする姿を見ることができました。
- 一回目の測定の後、グループ内や他のグループと測定結果を見比べる場を設けることで、測定結果のずれを感じて、さらに自分たちの縮図をかき直して測定しようとする意欲を高められたと考えました。